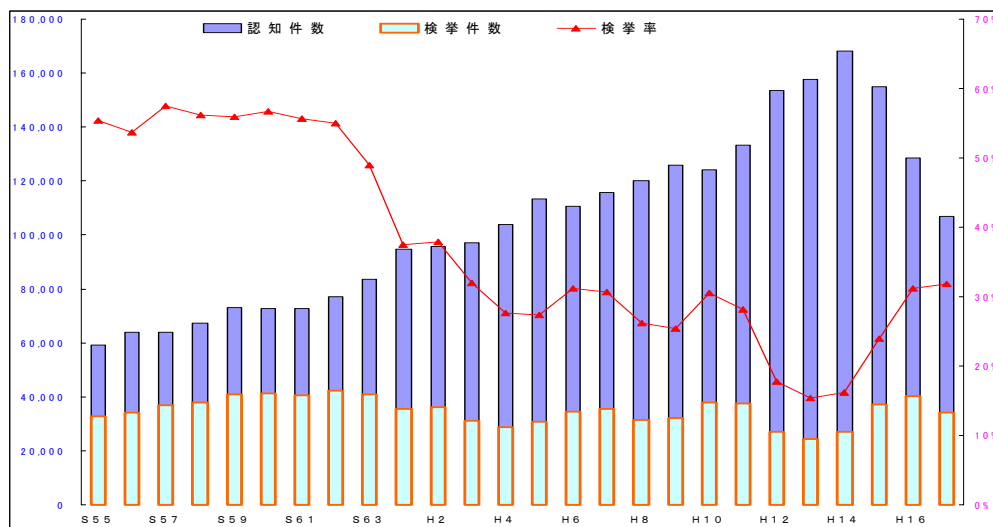


本県の犯罪情勢と防犯カメラの設置状況について

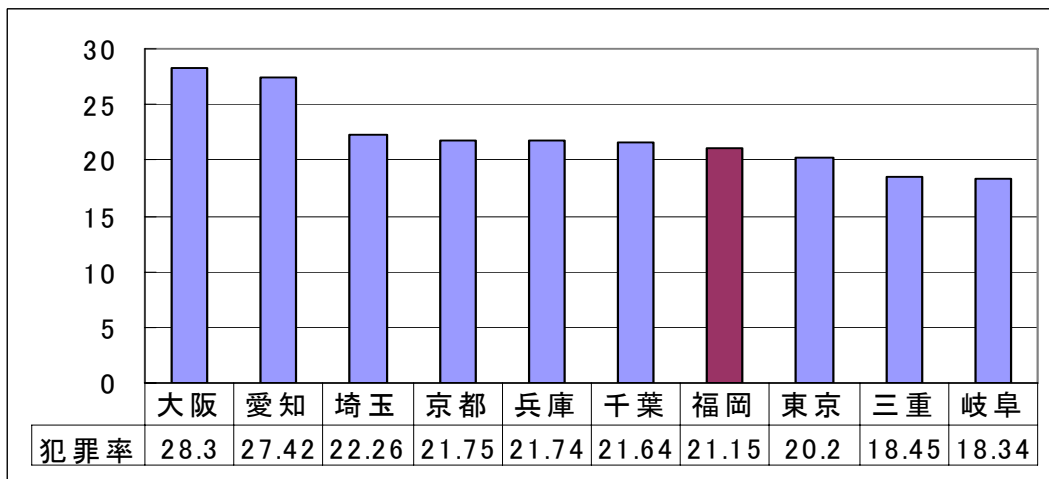
1 犯罪の発生状況

平成17年中に発生した本県の刑法犯認知件数は106,805件で、前年に比べ21,740件(17%)減少し、過去最高を記録した平成14年(168,190件)から3年連続で減少も続けており、本県の治安は回復傾向にある。しかしながら刑法犯認知件数では全国第8位、人口千人当たりの犯罪率では東京都を凌ぐ全国第7位に位置しており、全国的にみると本県治安情勢は未だ厳しい現状にある。

本県の刑法犯認知件数及び犯罪率の推移



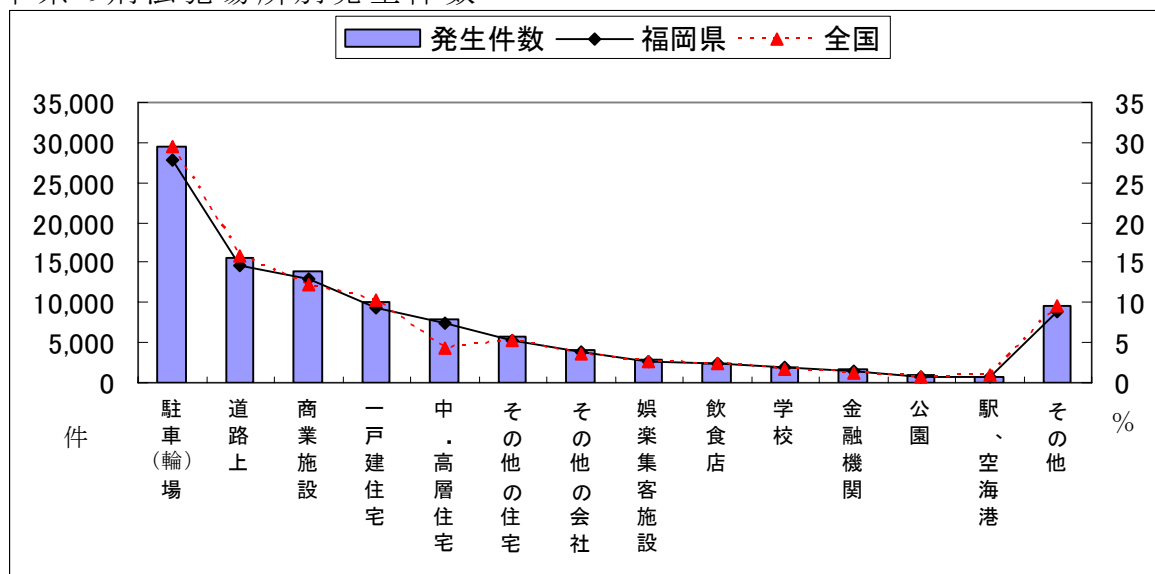
平成17年中の犯罪率(人口千人当たり)の全国比較



2 犯罪の場所別発生状況

平成17年中に発生した刑法犯を場所別に分類すると、最も発生件数が多いのは、駐車(輪)場の29,542件(28%)で、以下、道路15,622件(15%)、商業施設13,943件(13%)、一戸建住宅10,072件(9%)の順となっている。これを発生比率で全国平均と比較したところ、ほぼ全国平均と同様な傾向を示しているが、中・高層住宅での発生比率が全国平均に比べ特に高いといった特徴が見られる。

本県の刑法犯場所別発生件数



駐車(輪)場、道路上では、主に乗り物盗(37%)、車上狙い(31%)などが多発している。商業施設では万引き(54%)が多く、一戸建住宅では侵入盗(47%)が多い。また、中・高層住宅では乗り物盗や侵入盗が多いものの強制わいせつの発生比率(13%)が他の発生場所に比べ高くなっている。

本県の主な場所別発生罪種

(単位:件)

	凶悪・粗暴犯	侵入盗	乗り物盗	車上狙い	部品狙い	強制わいせつ	器物損壊	その他	計
駐車(輪)場	386	5	11,052	9,282	3,017	23	2,093	3,684	29,542
道路上	1,233	0	3,341	2,156	363	166	595	7,768 (占離3,291)	15,622
商業施設	283	1,172	857	651	96	7	331	10,546 (万引き6,881)	13,943
一戸建住宅	268	4,749	1,550	738	218	18	611	1,920	10,072
中・高層住宅	287	1,069	2,680	926	633	103	707	1,463	7,868
その他の住宅	207	1,929	1,283	389	220	33	360	1,286	5,707
その他の会社	97	1,568	203	137	153	4	218	1,701	4,081
娯楽・集客施設	138	166	228	178	26	7	121	1,956 (置引き681)	2,820
飲食店	210	837	110	146	10	1	128	1,026	2,468
学 校	63	325	432	138	19	4	506	527	2,014
金融機関	21	30	13	5	1	0	12	1,572 (詐欺1,199)	1,654
公 園	113	2	98	45	2	13	66	534	873
駅・空海港	55	7	175	4	17	1	64	334	657
その他	360	903	1,015	665	234	38	587	5,684	9,484
合 計	3,721	12,762	23,037	15,460	5,009	418	6,399	39,999	106,805

占離:占有離脱物横領

3 防犯カメラの設置及び管理の状況

(1) 民間施設等

民間施設における防犯カメラの設置状況を把握するため、以下の業種の中から200施設を抽出し、防犯カメラの設置に関するアンケート調査を実施した。

調査期日 平成18年11月

調査地域 福岡県全域

調査対象 10業種各20施設

回収数 103 (52%)

業種	商店街・地下街	バスターミナル・駅	金融機関	大規模商業施設	小売店	飲食店	娯楽・集客施設	駐車場	ホテル・サウナ・病院	教育施設	不明
回収数	12	11	11	16	8	7	7	9	9	12	1

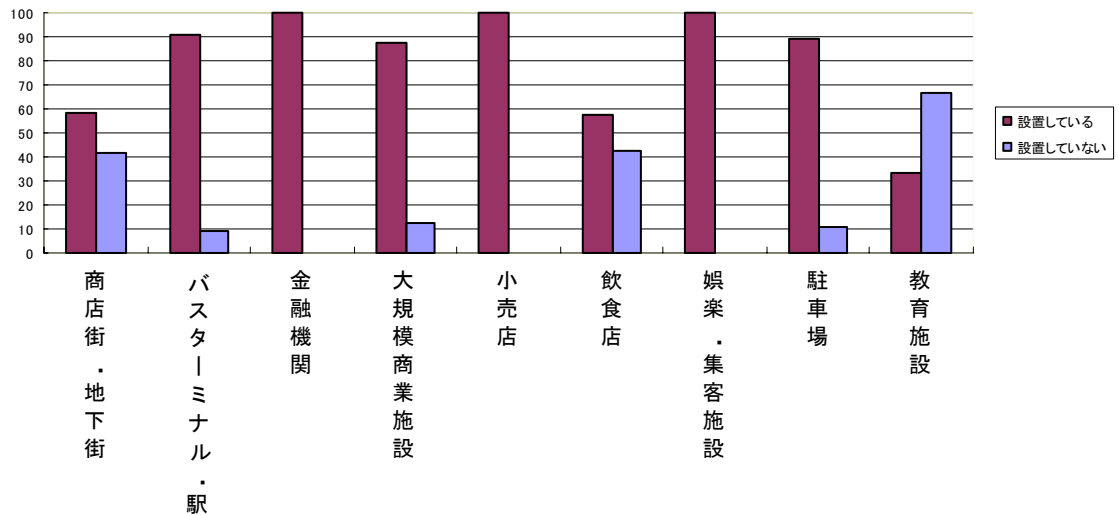
①防犯カメラの設置

「防犯カメラを設置しているか」の問に対して、「設置している」と回答があった施設は81施設(79%)である。このうち、「金融機関」、「小売店」、「娯楽・集客施設」は、すべて防犯カメラを設置していた。「バスターミナル・駅」、「駐車場」及び「大規模商業施設」は、ほぼ設置され、「商店街・地下街」、「飲食店」等は半数以上が設置している。

このことから、不特定多数の人が利用する民間施設では防犯カメラを設置している施設が多いことが伺える。

また、近年、子供の安全確保が特に求められていることから、教育施設についても調査を行ったが、防犯カメラの設置率(33%)は低い。

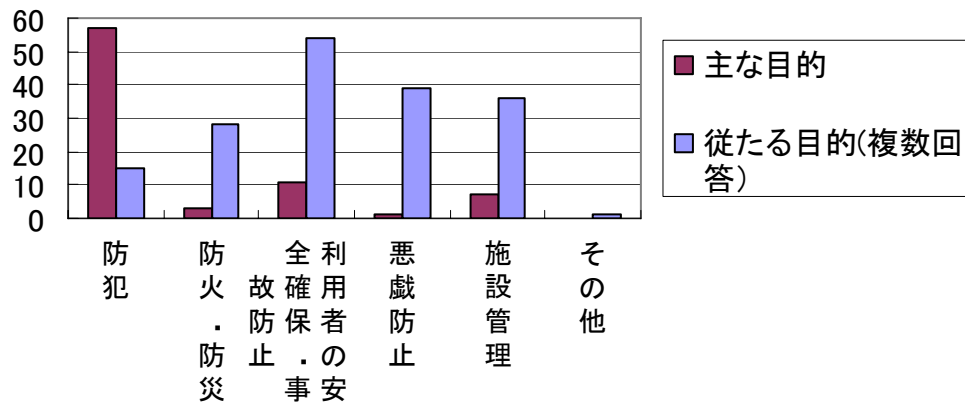
防犯カメラの設置状況



②防犯カメラの設置目的

カメラを設置している目的としては防犯の他、従たる目的として「利用者の安全確保・事故防止」、「悪戯防止」、「施設管理」、「防火・防災」などの回答があった。

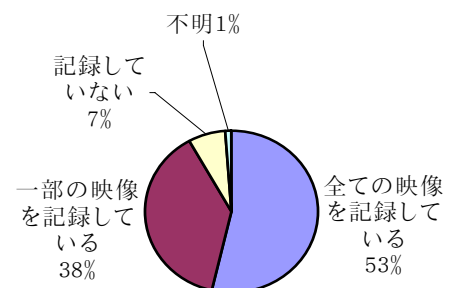
防犯カメラの設置目的



③映像の記録

映像については、カメラを設置していた施設の91%が記録し、目的は、「事故等の異常時の原因究明のため」と「証拠品として提供を求められた時のため」であった。

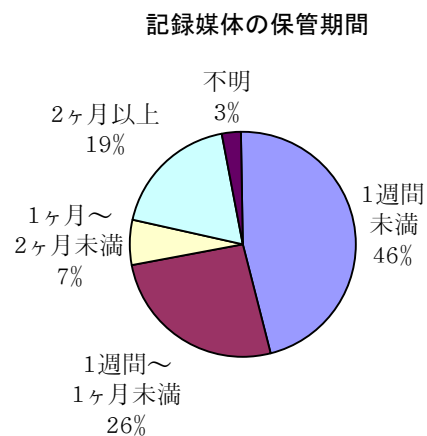
防犯カメラの映像の記録の有無



④映像の記録媒体と保管期間

映像の記録媒体は、ハードディスク(62%)が最も多く、以下、ビデオテープ、DVDと続く。

映像記録の保管期間は1週間未満(46%)が多く、1ヶ月未満(26%)を合わせると72%と比較的短期間の保存となっている。

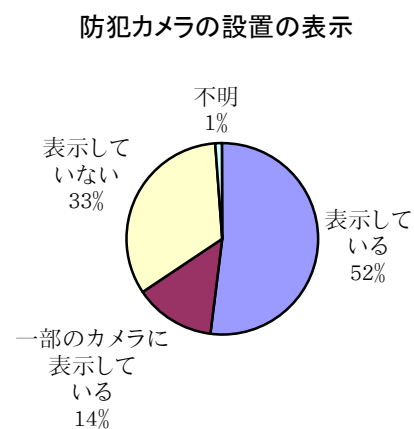


⑤映像記録の外部への提供

映像記録の部外者への提供は、半数から「提供したことがある」との回答があり、提供した理由としては、大部分が「警察等公的な機関からの要請に基づくもの」となっていた。

⑥カメラの設置の表示

「カメラの設置を表示しているか」の問に対しては、「一部カメラに表示している」を含め66%が防犯カメラの設置を表示している。



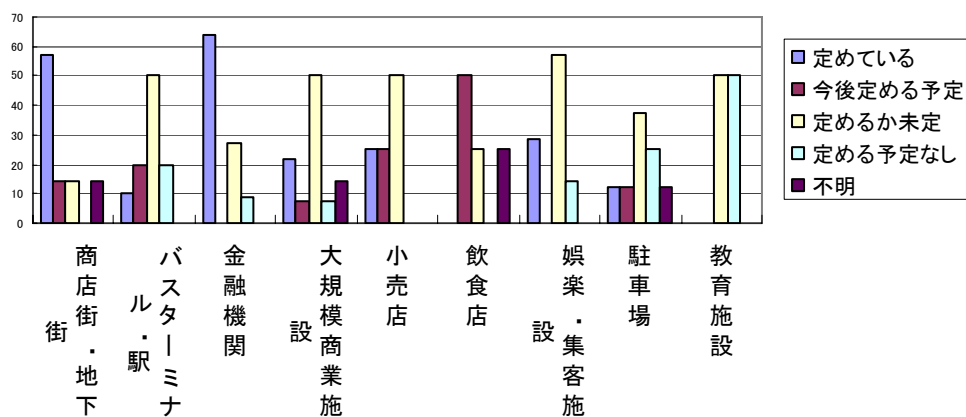
⑦カメラ設置に関する苦情等

「カメラ設置に苦情があるか」の問に対しては、「苦情はない」との回答がほとんどであり、「苦情があった」との回答は、駐車場で起きた事故の映像の閲覧に関するケースの1件のみであった。苦情は、カメラ設置に関するものではなく、むしろ記録画像の利用をめぐる起こっているのではないかと考えられる。

⑧管理基準の作成

「管理基準を定めているか」の問に対しては、「管理基準を定めている」との回答は26%であり、「管理基準を定める予定」との回答を合わせて40%となっている。回答の内訳をみると、商店街・地下街や金融機関では半数以上が管理基準を定めているが、全く定めていない業種もあり業種間で格差がある。

管理基準の策定



(2) 県及び市町村施設における防犯カメラ等の設置状況

調査の時期

県 施設 平成 18 年 6 月

市町村施設 平成 18 年 10 月

① 調査対象

県及び県内68市町村

② 防犯カメラ設置状況

県	21 施設	227 台
市町村	計 312 施設	2,385 台 (45市町村が設置)
合計	333 施設	2,612 台

③ 主な設置目的

- ・安全管理(庁舎玄関入口等)
- ・盗難等防止(自転車駐輪場)
- ・利用状況の確認(ホール等文化施設)
- ・災害監視(消防局)
- ・不法投棄の監視(林道沿)

④ 録画の有無

- ・あり 192施設 (58%)
- ・なし 141施設 (42%)

⑤ 録画媒体

- ・ハードディスク 74施設 (39%)
- ・ビデオテープ 89施設 (46%)
- ・DVD/CD 9施設 (5%)
- ・その他 20施設 (10%)

⑥ 映像記録の保存期間

- ・1週間以内 89施設 (46%)
- ・1週間～1ヶ月 53施設 (28%)
- ・1ヶ月以上 27施設 (14%)
- ・その他(特に定めていない等) 23施設 (12%)

⑦ 設置表示の有無

- ・あり 107施設 (32%)
- ・なし 226施設 (68%)

⑧ 管理基準の有無

- ・あり 31施設 (9%)
- ・なし 302施設 (91%)

3 防犯カメラに対する県民の意識

平成18年6月に実施した県政モニターによるアンケートの中で、「防犯カメラの設置について、どのように考えますか」と訪ねたところ、「防犯に役立つので設置すべきである」(46%)と「プライバシーの保護など、その運用に十分注意した上で設置すべきである」(50%)を合わせ、回答者の97%が防犯カメラを設置すべきであると考えていることがわかった。

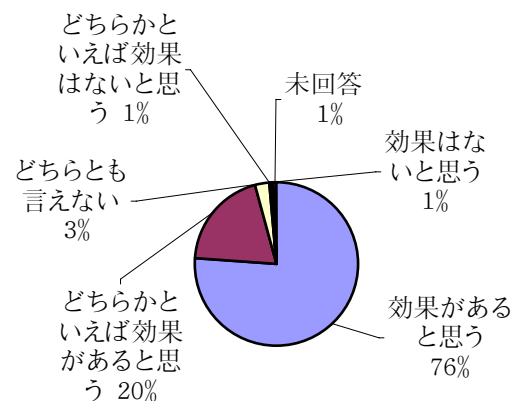
このアンケート結果を受けて、以下のとおり、さらに詳しい追加調査を実施した。

調査日 平成18年10月実施
対象 福岡県県政モニター 250名
回収率 75.2%

(1) 防犯カメラの効果の有無

「防犯カメラに効果があると思うか」の間に対して、「効果があると思う」(76%)と「どちらかといえば効果があると思う」(20%)を合わせると「効果がある」と答えた方は96%に上っている。

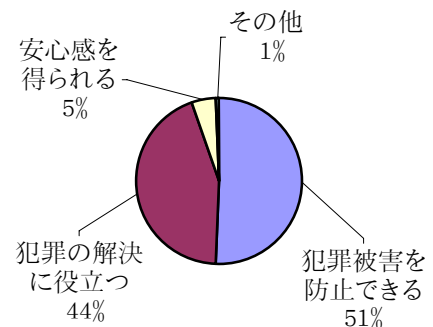
防犯カメラの効果の有無



(2) 防犯カメラの効果の内容

「どのような効果があると思うか」の間に対しては、「犯罪被害を防止できる」(51%)と「犯罪の解決に役立つ」(44%)との回答が大半であり、防犯カメラは、犯罪の抑止に効果があると一般的に認められていると考えられる。

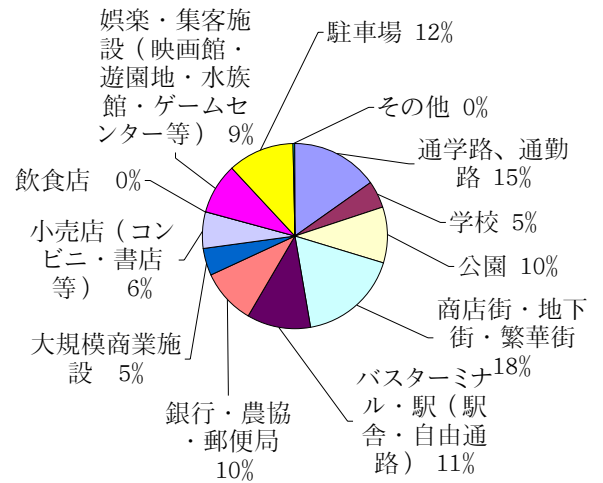
防犯カメラの効果の内容



(3) 防犯カメラの設置場所

「どこに設置すると効果があるか」の問に対して、3つまで回答を求めたところ、「商店街・地下街・繁華街」(18%)、「通学路・通勤路」(15%)、「駐車場」(11%)、「バスターミナル・駅」(11%)の順となり、公共性の高い場所での設置効果が上位にあった。

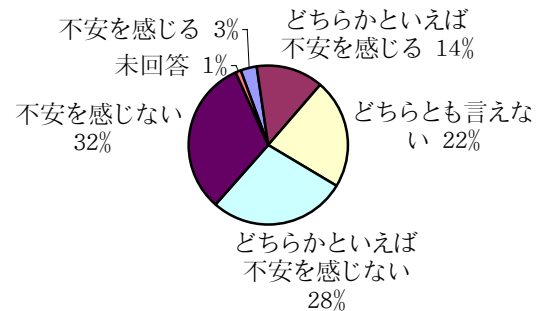
設置の効果が期待される場所



(4) 防犯カメラの設置に対する不安

「カメラが設置されていることで何か不安を感じるか」の問に対しては、「不安を感じる」(3%)、「どちらかといえば不安を感じる」(14%)を合わせても17%であり、カメラに不安を感じる方は比較的になかった。

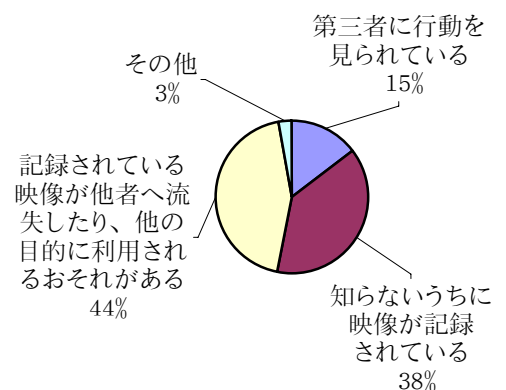
防犯カメラ設置に対する不安感の有無



(5) 防犯カメラの設置に対する不安の内容

「どのような不安を感じるか」の問に対しては、「記録されている映像が他者へ流出したり、他の目的に利用されるおそれがある」(44%)、「知らないうちに映像が記録されている」(38%)ことに対するものが多かった。

防犯カメラの設置に対する不安の内容



(6) 防犯カメラの設置場所に対する不安

「カメラがどこに設置されていると不安を感じるか」の問に対しては、目立って不安を感じる場所はなかったが、「商店街・地下街・繁華街」(16%)、「飲食店」(15%)などの回答が高かった。

防犯カメラを不安に感じる設置場所

